

第3次松戸市障害者計画の指標の検討

節	施策	目指す姿	指標	現状値	目標値	目標値の設定	<参考> 第2次における指標
第1節 地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進	1 市民意識の醸成	障害のない人と障害のある人がふれあう機会を持ち、障害に対する正しい理解を深めます。	●「障害のある人とふれあう機会がある」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	54.0%	55%	H23 と H28 の伸び率から設定。	「障害のある人に対する差別・偏見があると思う」と回答した人の割合
	2 地域福祉活動の推進	障害のある人もない人もお互いに支え合い、自分らしく活躍できる地域にします。	●「ボランティア活動に参加したことがある」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	22.1%	23%	H28 年度の数値を目標値と設定。	「ボランティア活動に参加したことがある」人の割合
	3 権利擁護体制の確立 重点	障害のある人に対する差別・偏見をなくします。また判断能力が不十分であるため、意思決定が困難であっても、その人らしい生活が送れるようにします。	●「障害のある人に対する差別・偏見があると思う」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	身体障害 46.2% 知的障害 57.1% 精神障害 56.9%	身体障害 0% 知的障害 0% 精神障害 0%	差別、偏見はあってはならないとの考えから、0%と設定。	「障害のある人に対する差別・偏見があると思う」と回答した 20 歳代の人の割合
			●「成年後見を知っている」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	40.7%	50%	半数の人が知っていることを目標値として設定。	
●「合理的配慮を知っている」と回答した人の割合（市民アンケート調査）			15.9%	24%	実績値を踏まえて設定。		
		●「障害者虐待防止・差別相談センターを知っている」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	18.8%	28%	実績値を踏まえて設定。		
第2節 ライフステージに応じた切れ目のない支援	1 障害の早期発見と早期療育	運動機能、視聴覚などの障害、精神発達等に遅れがみられる児童の早期発見と早期療育の支援につなげます。	●乳幼児健診の受診率	乳児（3～4か月）：97.8% 乳児（6～7か月）：92.2% 乳児（9～10か月）：91.8% 1歳6か月：97.7% 3歳児：93.7%	乳児（3～4か月）：98% 乳児（6～7か月）：95% 乳児（9～10か月）：95% 1歳6か月：97% 3歳児：95%	健やか親子 21（第2次）重点課題の目標値および実績値を踏まえて設定。	乳幼児健診の受診率
	2 障害に応じた療育の充実	障害や発達の不安等を抱える子どもに対して、子どもの障害特性や成長に合わせた切れ目のない支援を行います。	●施設巡回相談の件数	201件	250件	児童施設の拡充・強化を考え、実績値を踏まえて設定。	-
	3 特別支援教育等の充実	個々の教育的ニーズに合わせた支援体制を整備していきます。	●知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置数	87.7%（小学校 44/45） （中学校 13/20）	100%（小学校 45/45） （中学校 20/20）	特別な教育的ニーズをもつ児童生徒が、住所区の学校へ通える体制を作るため、100%と設定。	「障害のある児童の将来の日の中の過ごし方」について、「わからない」、「無回答」と回答した人の割合
	4 医療的ケア児等の支援体制の整備 重点	医療的ケア児者等に対する支援体制を構築し、医療的ケア児者等が在宅で安心して生活できるようにします。	●「医療的ケアを実施している」と回答した事業所の割合（医療的ケアの事業所調査）	10.3%（21/204）	11.8%（24/204）	21→24事業所を目指す。令和元年度に喀痰吸引研修を修了し補助金申請のあった事業所数が3事業所のため、同水準での増加を目標とした。	【新規】
第3節 生きがいをもった社会参加の促進	1 障害のある人への就労の支援 重点	障害があっても、地域で生きがいをもって自立して生活できるようにします。	●松戸市内の法定雇用率達成企業割合	46.9%	100%	法律上定められた雇用率なので、100%と設定する。	松戸市内の法定雇用率達成企業の割合
	2 地域とつながるスポーツ・文化活動等の支援	障害のある人が、スポーツや文化活動への参加を通して社会参加を促進し、地域社会において生きがいのある生活を送れるようにします。	●障害者福祉センターふれあい教室の利用者数	延べ4,725人	延べ5,500人	過去数年約5,000人で推移しており、1.1倍を設定。	「この1年間に趣味や学習、スポーツなどの活動をした」と回答した人の割合
第4節 自立した地域生活の支援	1 障害の原因となる傷病の予防と治療	障害の原因となる傷病の予防と早期発見、早期治療を行います。	●特定健康診査の受診率	36.2%※（速報値であり、11月に確定）	60%	松戸市国民健康保険 保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）で設定されている目標値を本計画の目標値として設定。	特定健康診査の受診率
	2 障害福祉サービスの充実	障害のある人やその家族が地域で安心して生活することができるよう、利用者のニーズに応じた様々な障害福祉サービスの提供を充実させます。	●基幹相談支援センターによる地域の人材育成・ネットワーク構築の研修等の実施回数	7回（コロナの影響で2回中止） 延べ参加者313人	9回 延べ参加者393人	現状を維持。人材育成の研修（市全域53人×3回）、ネットワーク構築の研修（圏域ごと58人×3回+20人×3回）。人数は実績値から算出。	ヘルパーなどの介助を受けるうえで、困難や苦労があるのはどういふことですか」との問いに対し、「特に問題ない」と回答した人の割合
	3 生活の安定のための支援	障害のある人が地域で安心して生活できるよう経済的基盤の安定を図ります。	-	-	-	-	-
	4 相談支援体制の充実 重点	地域の中ですべての人が、個人として尊重され、自立した生活が送れるよう、相談体制を充実させます。	●「基幹相談支援センターを知っている」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	11.4%	25%	4人に1人が知っていることを目標値として設定。	基幹相談支援センターを知っていると回答した人の割合 ふれあい相談室を知っていると回答した人の割合
	5 情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実	障害のある人が必要な情報に円滑にアクセスでき、また、円滑に意思表示やコミュニケーションを行えるようにします。	●「手話をコミュニケーションの手段として積極的に学んで使いたい」と回答した人の割合（市民アンケート調査）	3.4%	10%	障害のない人の1割を目標値として設定。	【新規】
		ウェブアクセシビリティの品質基準である日本工業規格 AA（ダブルエー）等級準拠を継続	AA（ダブルエー）等級	AA（ダブルエー）等級	現状を維持。	【新規】	
第5節 安全安心なまちづくりの推進	1 生活しやすいまちづくり	全ての人が生活しやすい環境を整備していきます。	●道路のバリアフリー化地区別完了率	11.8%（2/17地区）	17.6%（3/17地区）	松戸市交通バリアフリー道路特定事業計画（新八柱・八柱地区）に基づき設定。	道路のバリアフリー化地区別完了率 鉄道駅のバリアフリー化率（ワンルート整備率）
	2 防犯・防災及び感染症対策の推進 重点	誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域の防犯の体制や地域住民との連携がとれるようにします。	●避難行動要支援者名簿貸出件数 安全安心メールの登録者数	103件 24,641人	100件 35,000人	現状を維持。 年間約1,500人の登録を見込み、設定。	安全安心情報メールの登録者数